

祝 四大吉報・1（一日目）

浄心庵戒壇「シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔」建立 大成功

（当会/浄心庵 FB 公開中）



2022年9月2日（金）八日目のウボサタの日、日本茨城県銚田市 浄心庵戒壇「Sāsana Sirī Dhara Simā（お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇）」屋上において、大プロジェクトの主なる最も重要なシェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔の仏塔建立は大成功いたしました。工事は2日間にわたって行われました

シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔建立 ～ 安全祈願儀式 ～



2022年9月1日（木）午前7時45分より、浄心庵戒壇境内に於いて、本日行われる浄心庵戒壇仏塔奉納ご安置の工事に先駆けて、大長老を導師として、危険がなく無事成功するように安全祈願の儀式が執り行われました。

大長老をはじめとして、ミャンマーから来日された比丘様、シェーダゴンパゴダ形仏塔職人2名、常総開発工業株式会社 伊藤実様、クレーン作業員2名、法隆寺形五重塔

制作の株式会社竹中銅器東京営業所所長 折戸篤様、営業課主任 桃井敬志様、本社富山県高岡より「玉掛け」有資格者、そしてミャンマー人を含むプロジェクトメンバー13名の計24名が集合しました。

～ シェーダゴンパゴダ形仏塔 奉納御安置 ～



午前8時30分、浄心庵戒壇屋上にシェーダゴンパゴダ形仏塔と法隆寺形五重塔を奉納御安置する工事が行われました。

大長老のご指示のもと、それぞれが手分けして、地上からのクレーン荷揚げ及び屋上の土台据え付けの作業等を手伝い、まずはシェーダゴンパゴダ形仏塔底部をはじめとする各部が、順次屋上にご安置されました。

～ Satta thāna 仏像 ご奉納 ～

午前9時、浄心庵戒壇二階において、大長老をはじめとして全員が集合しました。大長老より両仏塔に奉納する仏舍利や Satta thāna（サッターナ・お釈迦さまが正覚を得られた後の七週間）仏像などについて、どの部分・位置に



奉納するか等の説明を賜った後、屋上へお運びしました。



大長老のお導きの下、尊敬合掌して三帰依文を唱えた後、仏像などが納められた黄金に輝く宝箱を、仏塔底辺部三段が積み重ねられた上に郑重に捧げ置いて溶接されました。



次に上の段、鐘の部分に覆うようにして据え付けられることで、尊き仏舎利をはじめお釈迦さまの仏像等がシェーダゴンパゴダ形仏塔内部に完全に奉納されました。

仏塔の傘の冠と最重要塔頂部は翌日 9 月 2 日（金）に作業が行われました。

～ 法隆寺形五重塔 奉納御安置 ～



午前 10 時 30 分、法隆寺形五重塔のクレーン作業が始まりました。シェーダゴンパゴダ形仏塔の北側に位置する土台に、三分割された五重塔の底辺部がしっかりと据え付けられた後、仏舎利が大長老の手によって内部に奉納されました。



さらに中段、上段と順次積みあげられた後、九輪といわれる頭頂部がめでたく組み込まれ、午前の中に重厚な存在感を放つ法隆寺形五重塔が完全な姿となって、奉納御安置されました。



～ 大善喜 ～



午後 1 時 30 分、大長老をはじめとして、佳境を迎えるシェーダゴンパゴダ形仏塔建立と完成した法隆寺形五重塔が存在する浄心庵戒壇屋上に全員が集合しました。

三宝に護られ、雨の予報が一転晴天に恵まれ、青空に映える黄金に輝くミャンマーの仏塔と、森を背に青銅色の静けさと和の五重塔が見事に調和し、大長老のお導き通りに、ついにこの日を迎えることができましたことに心から感謝の念が溢れ、全員が大善喜いたしました。

～ 高貴な功德を回向 ～



午後 2 時、戒壇二階へ移動し、大長老のお導きにより、全員は特別な尊い功德を喜び、すべての生きとし生けるものに回向いたしました。回向…と発したと同時に、浄心庵戒壇の土地・建物全体が淨らかに揺れる地震が生じました。浄心庵戒壇を護る神々・梵天たちの喜びの顕しと更に喜びました。続けて大長老より翌日最終工事の予定を賜りました。

～ シェーダゴンパゴダ形仏塔の内部構造 ～



引き続き、ミャンマーの仏塔職人がたは、シェーダゴンパゴダ形仏塔の内部構造を組み立てる作業に入られました。

祝 四大吉報・1（二日目）

浄心庵戒壇「シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔」建立 大成功 （当会/浄心庵FB公開中）



2022年9月2日(金)八日目のウボサタの日、大長老によって仏塔・最頂部(ダイヤモンドのつぼみ)が重ねられ、シェーダゴンパゴダ形仏塔建立は大成功いたしました

浄心庵戒壇「シェーダゴンパゴダ形仏塔・最頂部」 奉納御安置の儀式



2022年9月2日(金)八日目のウボサタの日、午前7時30分、浄心庵戒壇二階瞑想堂において、大長老を導師としてシェーダゴンパゴダ形仏塔・塔頂部 奉納御安置儀式の

準備のため、参加者それぞれが集合しました。
三宝の徳と恩を念じて、お釈迦さまの正面に、仏塔上部に奉納されるすべてが荘厳されました。
儀式は午前・午後の部に分けて執り行われました。

午前の部 ～ 三宝へご供養の儀式 ～



午前8時、大長老を導師として儀式が開始されました。
最初に、仏塔・最頂部(ダイヤモンドのつぼみ)の中に仏舎利を奉納御安置いたしました。参加者は三帰依と共に五戒を授かった後、戒清浄・心清浄を身に具え、三宝を目指して、比丘サンガを代表する大長老の手に一人一人がシェーダゴンパゴダ形仏塔上部、鐘・傘の冠・風見鶏から最頂部までの各部一つ一つを厳粛にご供養させていただきました。



同時刻・午前8時～11時30分、浄心庵戒壇屋上において、シェーダゴンパゴダ形仏塔周囲に足場を組む工事が行われました。

午後の部

～ 仏塔・塔頂部奉納御安置の儀式 ～



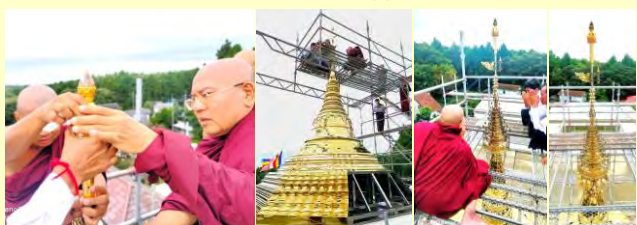
午後0時30分、淨心庵戒壇二階に於いて、全員が集合し、大長老をご先導に、それぞれが奉納する仏塔・上部各部を捧げ持ち、列をなして屋上に向いました。



大長老は、危険がないようにと護経（Paritta）の聖水をかけながら、また大長老に続いて全員は、ナモータッサ礼拝偈文をはじめ、三帰依文、ブツダの九徳・ダンマの六徳・サンガの九徳を唱和しながら、シェーダゴンパゴダ形仏塔を右回りに三度巡拝しました。



そして、足場を昇られた大長老の手によって、シェーダゴンパゴダ形仏塔上部、鐘・傘の冠・風見鶏の各部品がひとつひとつ、三宝の徳と恩を念じて、積み重ねられました。



最後に、大長老によって、仏塔・最頂部（ダイヤモンドのつぼみ）が最上段に捧げられました。すべてが完全に奉納御安置されました。

仏塔・最頂部におられる大長老のご先導で、最初大長老がパーリ言葉の「Jitam me・ジータン・ミー（私の積んだ功德が大成功）」を一回念誦されました。続けて、参加者全員が、三回念じ唱和しながら、大善喜が生じ起こりました。

完成した輝かしいシェーダゴンパゴダ形仏塔に参加者は、聖なる護経（Paritta）の聖水のご供養をしながら仏塔を右回りに三度巡拝した後は、二階瞑想堂に移動しました。

ジータン・ミー ～ Jitam me・私の積んだ功德が大成功 ～



～ シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔 ～ 仏塔尊敬儀式



午後1時30分、淨心庵戒壇二階において大長老を導師としてテラワータ仏教の伝統に則した仏塔尊敬儀式が行われ、比丘サンガによる感興偈が読経されました。最後に、シェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔建立を目指して今日まで行われたすべての功德を回向し、随喜しました。

続けて、パーリ言葉で「Buddha sāsanaṃ ciram tittathu. (お釈迦さまの教えがなくならないで永く存在できますように)」を念じ唱和して儀式はすべて無事終了いたしました。

このように、淨心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大プロジェクトの主なる最も重要なシェーダゴンパゴダ形仏塔・法隆寺形五重塔の仏塔建立は大成功いたしました。

三宝と偉大なる大長老の徳とご恩のお陰さまで、ミャンマー人と日本人の皆さまと共に稀有な得難い功德を積み重ねていただきましたことに心から感謝と随喜申し上げます。

仏塔建立の奉納ご安置に際し、多大なるご尽力を賜りました大長老をはじめとして、ミャンマー人・日本人の皆さま、企業の皆さま、関係者の皆さまに謹んで御礼申し上げます。

2024年秋までに、土地整備などの付帯工事を終わらせ、大プロジェクトの完成を目指して、大回会が行えるよう最善を尽くしてまいります。今後とも皆さまのあたたかいご支援・応援を何卒よろしくお願いいたします。